

# 俣郷

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、  
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

## ☆ 創作の軌跡 3 ☆

「若い目」に掲載された作品を紹介します。その時々で、皆さんがいろいろな目標をもったり、日常のいろいろなことで感動したことがつづられていますね。



文章をよく読む

石橋 美沙

中学校で頑張りたいことは、勉強と部活です。勉強では、私の苦手な数学を頑張りたいです。その中でも苦手なものは、文章問題なので、文章をよく読んで解きたいです。もし間違えたら、家で間違えたところを解けるようになるまで練習したいです。計算も早く正確にできるようになりたいです。

部活で頑張りたいことは、二つあります。一つめは、テキパキ行動することです。指示が出て出なくても、だから行動するのではなく、すぐ行動できるようになりたいです。二つめは、どんなに練習がきついても最後までやり遂げることです。私はきついことなどをやっているとき、すぐあきらめてしまうので、このくせを直したいです。また、体力も付けたいです。この目標をやり続けていけるよう努力したいです。

(若い目)

悔いない練習を

京保 亜美

夏の中体連まであと1ヶ月になりました。今年最後の中体連です。そのことを考えるだけでドキドキしてきます。泣いても笑っても最後なら、私は絶対に悔いの残らない試合をしたいと思います。そのため、あと1ヶ月悔いのない練習をしていきたいです。

私は試合でいつも執念がないといわれます。競った試合では、どちらが勝つかわかりません。だから、相手より「絶対に勝つ！」という気持ちを強く持ちたいです。どんな練習でも試合だと思つて集中して取り組みたいです。ミスをしたくない選手はいないと思うので、相手が強いペアでも、自分がミスをしなかつたら勝てる可能性はあると思うので、粘って粘ってプレーしたいです。

(若い目)



あくまきを作る

山中 碧

私は、ゴールデンウィークに祖母からあくまきの作り方を教わりました。私は、昔は一緒に作っていました。今年一人で作れるようにしたいと思ひ、教わりました。

前日から、もち米1升を洗ってあくにつけました。手を入れるとひりひりしました。次の日、いよいよあくまきを作りました。前日つけておいたもち米をざるにあげると、真っ白なもち米が黄色になっていました。それを山水で洗ったタケノコの皮にのせました。

祖母は、どれくらいおせるのが、これまでの経験でわかっているのすごいと思ひました。タケノコの皮に入れたもち米をタケノコの皮で作ったひもで結びました。しばらくすぎても、ゆるすぎてもいけないので難しかったです。そうしてできた立派なあくまき15本は3時間半くらい煮込むとできあがりしました。私は、できたてのあくまきに砂糖と塩ときな粉を混ぜたものにつけて食べました。これはどおいしいものができたことに驚きました。祖母に感謝したいです。

(若い目)

強いアタッカー

西岡 陸

僕は、バレーボール部に入部しました。今まではボール拾いをしていただけで、やつと本格的に練習に参加することができるようになりました。

僕は、アンダーパスが苦手なので、家で父や弟と一緒にアンダーパスの練習をしています。レギュラーの人たちを見るとアンダーパスやトスがすごく上手で、僕もあんなふうになりたいと思いました。

僕は、アタッカーになりました。僕は、牛乳を飲んで毎日ジャンプをしています。小学校では140センチだったのに、148センチくらいになりました。レギュラーになり、アタッカーになりたいので毎日真剣に取り組んでいます。中学校は、勉強と部活の両立が難しいので、勉強も頑張りたいです。そして、バレーでは、アタッカーになって学校一強になりたいです。

(若い目)

